

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成28年1月8日

NO.21

本年もよろしくお祈りします！

平成28年の始まりです。あけましておめでとうございます。

冬休みには大きな事故や怪我の報告もなく、8日（金）の3学期始業式には、全員が笑顔いっぱい集い合うことができました。皆が元気に新しい年を迎えることができましたことを大変嬉しく思います。



2学期の終業式には、学校リーダーの6年生が学級会などであれこれと話し合い、演じ見せてくれました。『安全・安心の冬休みの過ごし方』のパフォーマンスの効果があったからでしょう。皆がよくきまりや約束を守り、冬休みを終えることができました。保護者・地域の皆様におかれましては、昨年は大変お世話になり本当にありがとうございました。今年も国立第七小学校の教育活動へのご理解とご協力をどうかよろしくお祈りいたします。

さて、新学期が始まり、書き初めや冬休みの宿題を持ち寄り、学校中に明るく元気な子ども達の声がこだましています。新年を迎え、皆が今年こそはというやる気や活気が満ちています。3学期も様々な行事などが予定されています。また、1年間の総まとめの時期であると共に、卒業や進級への準備・助走期間となります。3学期は54日（5・6年生は55日）と短い学期ではありますが、子ども達の健やかな心身の成長と確実な学力定着に向け、之まで以上に、教職員一同指導に尽力して参りますので、重ねてよろしくお祈り申し上げます。

2月19日もよろしくお祈りします！

本校は国立市教育委員会奨励校の指定を受け、ここ数年国語科授業の研究を進めてまいりました。その成果発表の場として2月19日（金）に国立市公立小中学校の全教員及び国立市以外の区市町村の教員が集い研究発表会が実施される予定であります。

教員がよりよい授業・わかりやすい授業をすることは、教員の努めであり、指導の生命線であると常々感じております。様々な学びの方法・研修を積んだ教員だからこそ、児童に学習する喜びや学ぶ楽しさを実感させることができると考えています。本校の教員集団は、皆が授業改善や教材研究に真剣に取り組んでおり、精鋭の集団だと自負しております。授業力向上にはきりがありませんが、皆必死に取り組む姿には本当に頭が下がる思いであります。そんな先生達の頑張りの姿が研究発表会ではたくさん見られることでしょう。PTAの皆様には、ご支援・ご協力をよろしくお祈りいたします。詳細は後日ご連絡させていただきます。